



11月の活動報告 ●は本会主催

○畜産フェアで卵の配布

11/4(金) 10:00～ 三井アウトレットパーク木更津
卵200パック及び卵の啓発資料を配布し、卵の消費拡大活動を行った。

○千葉県再生協議会 幹事会

11/7(月) 10:00～ 千葉県教育会館
11/17(木) 10:00～ 千葉県教育会館
稲作部会 古谷正三郎部会長 出席

●養鶏講習会(千葉県畜産協会と共催)

11/11(金) 14:00～ホテルプラザ菜の花及びWEB
講演「バイオセキュリティ強化について」
東京農工大学 教授 竹原一明 様
講演「高病原性鳥インフルエンザの防疫対策について」
千葉県農林水産部家畜衛生対策室長 島田純様
出席者 県内養鶏生産者、県関係機関、関係団体・業者等、獣医師 会場13名、Web40名

●第2回養鶏部会全体会議

11/11(金) 16:00～ホテルプラザ菜の花及びWEB
畜産課家畜衛生対策室 島田室長、猪熊主査と生産者が鳥インフルエンザから農場を守るための方法について活発な意見交換を行った。
出席者 会場11名、WEB14名

●第3回理事会

11/17(木) 13:30～ 千葉県農業協会事務所及びWEB
決議事項 ①新春交歓会について
◆コロナの感染拡大状況から、年末での前倒しも含め検討した結果、2月中下旬に交流会として実施することとした。
報告事項 ①会員の入退会について
②各部会の活動状況について
③代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
出席者 理事11名、監事1名

●第51回肉用牛部会枝肉勉強会

11/18(金) 8:30～ 東京食肉市場
出品点数 30点(黒毛和種9点、交雑種21点)
千葉県知事賞 (株)しあわせ牛 様(黒)
日本食肉格付協会賞 (株)えびすファーム 様(交)
東京食肉市場賞 伊藤茂雄 様(黒)
千葉県農業協会賞 (株)IIZASA 牧場 様(交)
千葉県農業会議賞 (株)熱田牧場 様(黒)
肉用牛部会賞 (株)御子神畜産 様(交)

●若き経営者のつどい ※(株)日本政策金融公庫様との共催

11/18(金) 16:00～ オンライン
課題の発表・講義「人材の定着・育成について」

○千葉県再生協議会 総会

11/22(火) 13:15～ 千葉県自治会館
稲作部会 古谷正三郎部会長、事務局 出席

●養豚自主学習会(千葉県養豚振興協議会との共催)

11/25(金) 13:00～ アートホテル成田
テーマ「公庫と上手に付き合う作法について」
出席者 15名

○アグリサポーターズ令和4年度秋季総会

11/29(火) 14:00～ 茂原樟陽高校
令和4年度の実施状況について
意見交換「農業関係高校との連携について」

●専門学校授業における当協会員による講義 第4弾

11/30(水) 10:30～ハッピー製菓調理専門学校
講師 古谷正三郎 様(株)大地の恵み 代表)
内容 「今こそお米を見直そう」

12月の活動予定

●肉用牛・酪農経営技術講習会

12/6(火) 14:00～ アートホテル成田
講演「肉牛のワクチネーション-牛の複合呼吸病(BRDC)とその対策-」
講師 日生研株式会社 製造部 次長 平修 様
講演「若い後継者を育てるための事業承継の心得」
講師 クオリス 代表 村本 政彦 様

○全日畜シンポジウム「地域資源を活用した農畜連携」

12/8(木) 13:00～ ホテルポートプラザちば
事例発表
「全日畜の実態調査からみた農畜連携の取組状況と課題」
講師 全日畜 専門員 神谷 康雄 様
「香取市耕畜連携農業推進協議会の活動について」
講師 千葉県農業会議 専門員 高岡 晃 様
「地域資源の稲WCSを有効活用する体制づくり」
講師 ファームサポートかとり(株)
代表取締役 長嶋透 様
「連携の秘訣は農業側と畜産側がウィンウィンであること」
講師 (株)秋川牧園(養鶏経営) 生産部
次長 村田洋 様
「稲作農家と畜産生産者で「もみ殻」の有効活用にチャレンジ」
講師 金子ファーム(肉用牛酪農経営)
取締役会長 金子春雄 様
「耕畜連携から農畜連携へ」
講師 農学博士 石田 憲治 様



●第44回千葉県鶏卵品質改善共進会に係る表彰式及び
情報交換会

12/12(金) 15:00～千葉県農業協会事務所及びWEB

○第31回関東地区稲作経営者現地研究会

12/13(月) 13:30～14(火) 12:00

伊香保温泉 千明仁泉亭

○令和4年度全国稲作経営者会議青年部全体会

12/14(水) 14:00～17:00 主婦会館(千代田区)

○第41回全国稲作経営研究会

12/15(木) 13:00～17:00

フクラシア品川クリスタルスクエア ホールA

情報提供

○「オープンイノベーション交流会」のお知らせ

(千葉県商工労働部産業振興課主催)

1/30(月) 午後 千葉銀行本店3階大ホール

「フードテック」に関する優れた技術シーズを有するベンチャー企業と、その技術や製品を活用したい企業や大学、投資家等との連携促進を目的に開催されます。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。

○令和4年度千葉県家畜保健衛生業績発表会

12/22(木) 10:00～16:30 千葉県文化会館小ホール

発表内容

第1部 家畜保健衛生所の運営及び家畜保健衛生の企画推進に関する業務

第2部 家畜保健衛生所及び病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験及び調査実績

特別講演 「豚熱から学ぶアフリカ豚熱の対応」

(有)あかばね動物クリニック 伊藤 貢 様

参加および動画視聴の方は12/15(水)までにお申込ください。

(※特別講演は、WEB公開されません。)



事務局より

本年度総会及び理事会で決定されたとおり、「耕畜連携委員会」、「次世代連携委員会」「政策提言委員会」を設置し、協会として検討していくこととなりました。また、それぞれの委員会に、各部会から委員の選出をお願いすることとしています。

「耕畜連携委員会」においては、元木委員長より、下記の通り取組方針が打ち出され、メンバーを募集しておりますので、「耕畜連携委員会」にご入会希望の方は事務局までご連絡ください。

他の委員会については、募集内容が整いましたら、別途ご案内いたしますので、もうしばらくお待ちください。

耕畜連携委員会のメンバー募集

耕畜連携委員長 元木隆行

(養鶏部会)

今年度より協会の新たな取り組みとして「耕畜連携」、「次世代連携」及び「政策提言」の3つの委員会が立ち上がりました。

耕畜連携委員会では下記の課題に取り組んでいきます。

協会会員の相互利益のため、さまざまな角度で意見交換をしたいと思いますので、積極的なご参加をお待ちしています。

耕畜連携委員会の取り組み(案)

1 耕畜連携の形

- (1) 家畜排せつ物(糞・尿)の堆肥又は肥料としての利用(畜→耕)
- (2) 野菜残渣の飼料利用(耕→畜)
- (3) 飼料用米の飼料利用(耕→畜)
- (4) イネホークロップサイレージの飼料利用(耕↔畜)
- (5) 子実トウモロコシの飼料利用(耕↔畜)
- (6) もみがらの有効利用(耕→畜) など

2 議論すべき事項

- (1) 現在の実態の確認及び課題の抽出
- (2) 関係法令の確認
- (3) 連携に必要な情報発信の方法(誰が行うべきかも含めて)
- (4) 農家間の交渉が円滑に行えるようにするための方法やルールが必要か
- (5) 行政の意向及び支援の有無(期待する支援も含めて)

令和4年11月30日発行

【発行元】一般社団法人千葉県農業協会

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-12-1

TEL: 043(239)5045 FAX: 043(239)5048